



昭和60年(1985年)

体外受精を成功させる

～北陸の産婦人科学会をリード～

昭和60年(1985年) 8月9日(土曜日)

体外受精 県内でも誕生

福井赤十字 男の子 体重3600g 身長51cm

30歳代主婦が出産

先月 市民病院で国内初

「在宅型」方式の拡充を

省設置

国際会議スタート

総評など不参加しこりも

あすから南太平洋サミット

民間病院で国内初となる体外受精の成功は、1面で大きく取り上げられるなど話題となった

昭和59年(1984年) 11月16日(日曜日)

福井赤十字で体外受精

着床15例目に成功

市民病院では全国初

来年夏にも誕生

外相訪日の意思

ソ連 中道代表に表明

福井新聞

本多整形外科

ケーブル火災注意 広がる223番

アフリカへ追加援助

平成元年(1989年) 7月13日(木曜日)

体外受精、ギフト法

妊娠率は50%

福井赤十字病院 世界でも高水準

15日から福井で学会発表

ことし上半期

昭和60年(1985)、福井赤十字病院は初めて体外受精に成功しました。体外受精は、昭和53年(1978)に世界で初めてイギリスで成功。日本での成功は5施設目で、民間病院としては初となる快挙でした。当時、体外受精を中心的に手がけていたのは産婦人科部長の西修先生で、当時の産婦人科代表部長の山田良先生とともに、福井赤十字病院産婦人科は福井のみならず北陸の産婦人科学会をリード。今も、長い歴史を受け継ぎながら、最先端の医療に取り組んでいます。

昭和60年の出来事

- ・男女雇用機会均等法が制定
- ・ファミコン用ソフト『スーパーマリオブラザーズ』が発売
- ・科学万博「つくば'85」が開催された
- ・電電公社が民営化された



福井赤十字病院